

[会社概要]

日世株式会社

写真1



マスコットキャラクター
『ニッケン・セイちゃん』

代表取締役社長 / 田中 稔章

従業員数 / 643名

本社 / 大阪府茨木市宇野辺 1-1-47

事業内容 / ソフトクリームに関連資材(コーンカップ・ミックス・機械類)の製造販売、乳製品(ホイップクリーム、コーヒーフレッシュ)の製造販売、フルーツブレパレーション(フルーツ調整品)の製造販売

URL <http://www.nissei-com.co.jp>

写真2



品質保証部 副課長
森田 千奈美

1. タドルス導入の目的

工場毎に異なる書式で紙管理している原料・商品情報を一元管理へ

現在弊社は全国4拠点(大阪・神奈川・山梨・滋賀)に工場があり、工場毎に製造している物が異なっております。例えば大阪/枚方工場と神奈川/東京工場ではコーンカップ、山梨/甲府工場ではフルーツを加工したトッピング、滋賀/びわ湖工場ではソフトミックスを製造しております。以前は工場毎に原料規格書の回収を行い、製品仕様書を作成しておりましたので、どうしても工場にかかる負担が大きく、更に製造品目が異なる為、工場毎に原料規格書フォーマットが異なり、記載されている情報も担当者しか判断できないという状態でした。

そこで、工場が分かれていても、原料・商品情報を本社にて一元管理し、原料・商品情報が共有できる仕組みを検討しておりました。

検索・問い合わせ業務の効率化と規格書作成時間の省力化

問い合わせ対応業務や販売先への規格書作成業務は本社、または東京支店の品質保証部にて行っていたのですが、上記のような管理方法だった為、不明部分があれば一度工場に情報を確認してから対応という事を行っていました。そのため回答、または規格書提出までに時間が掛かりお客様をお待たせしてしまうという状況があり、迅速な対応ができる仕組みを検討しておりました。

昨今、原産地や賞味期限等の問題が取りざたされていることから、このような問い合わせへの迅速な対応が企業の信用・信頼といった部分に大きく関わってくる可能性があり非常に重要な点と感じておりました。

2. タドルス選定ポイント

パッケージ機能の充実

原料・商品マスタ管理、規格書作成機能、詳細な検索機能といった、弊社に必要な機能がパッケージ機能の中で装備されていたため安心して導入ができました。またパッケージという事で価格も抑えられました。

操作性と自由度の高さ

TADORSを運用していく上で、工場毎に異なっていた原料規格書のフォーマットを共通にするという事も行いました。ただし製造しているものが異なる為、管理項目が共通というわけには行かなかったのですが、TADORSの場合、原料規格書のフォーマットも自由に設定でき、管理項目もユーザーにて追加・変更できた為、欲しい情報がそのまま管理でき更に使用方法も簡単でした。やはり長い間使用していくシステムですので操作が簡単という事や画面の見易さも重要でした。

3. 今後の展開

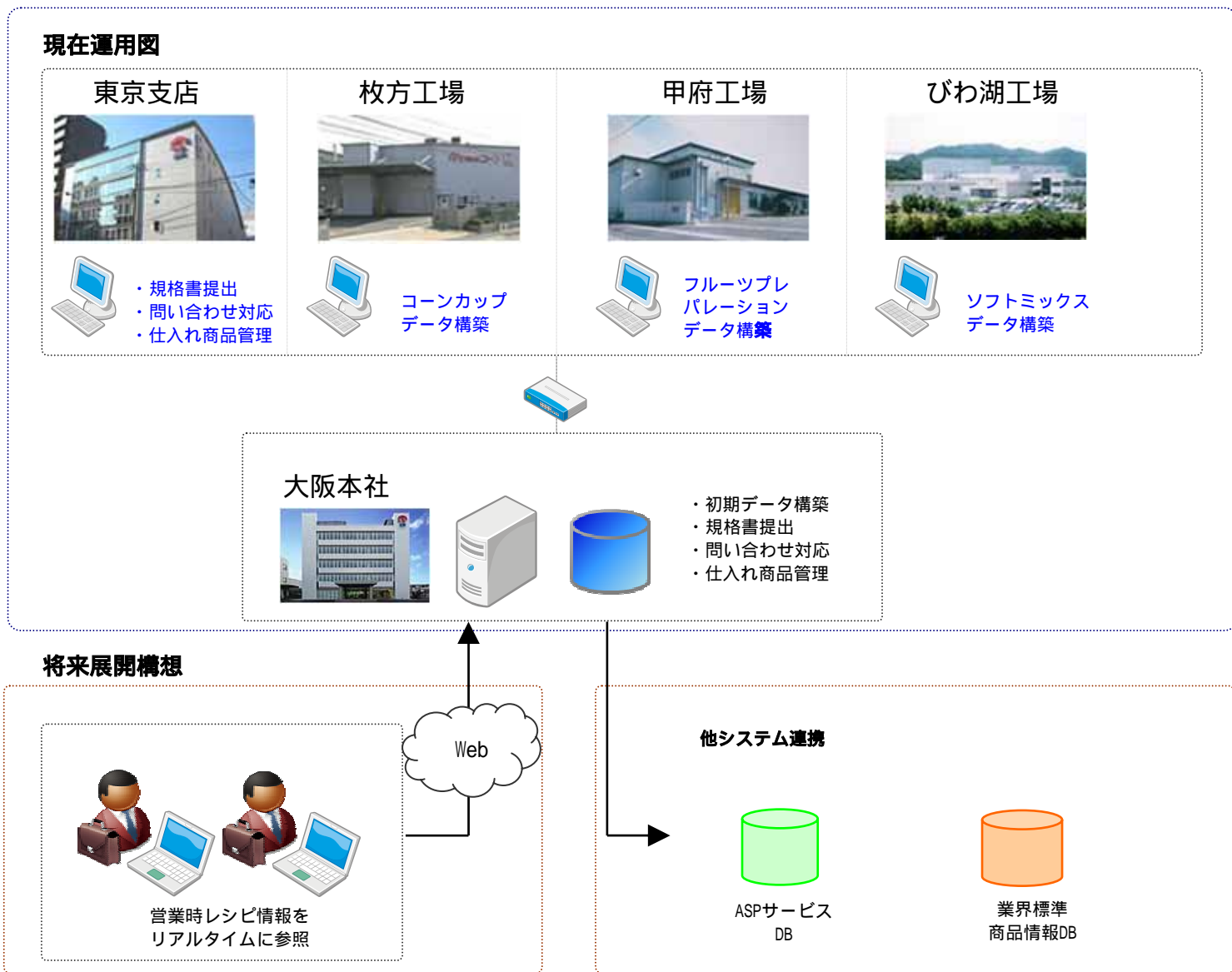
営業部員への情報公開

今回TADORSで構築した商品情報を、外出中の営業部員からも参照できる仕組みを構築したいと考えております。営業部員が商談時に瞬時にインターネットを經由して商品情報を把握する事で、迅速な営業が可能になり、当社の利益に繋がるため、品質保証部としては営業部員が商談しやすい環境を提供していきたいと考えております。

他社システムとの連携

現在品質情報の標準化項目を構築していこうという流れがあるかと思いますが、そういったシステムとのデータ連携やお客様からの問い合わせ窓口でも使用する事も検討しております。やはり共通の項目もある為、作業の二度手間は省き更なる効率化を進めていく予定です。

4. システム構成図



[問合せ先]

TSH 東京システムハウス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-1-10
ユーズワンビル

TEL 03-5436-3341 FAX 03-3493-3550

MAIL tadors@tsh-world.co.jp

<http://www.tsh-world.co.jp/tadors>

[販売店]